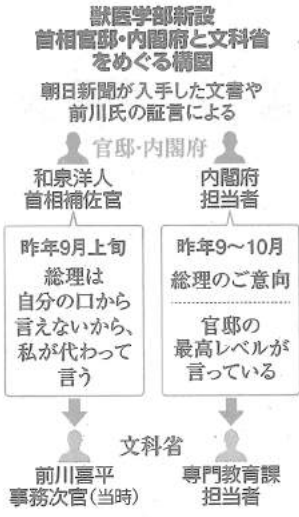


「総理は言えないから私が言う」

首相補佐官から要求

加計新学部で前次官証言

安倍晋三首相の友人が理事長を務める学校法人「加計学園」(岡山市)の獣医学部新設計画について、前川喜平・前文部科学事務次官が朝日新聞の取材に対し、昨年9～10月に和泉洋人・首相補佐官と首相官邸で複数回面会し、総理は自分の口から言えないから、私が代わって言う「などと言われた」と証言した。「獣医学部新設を早く認めるよう求める趣旨だった」と語った。▼39面「焦り感じた」



首相「圧力一切ない」便宜否定

安倍晋三首相は29日の参院本会議で「(国家戦略)特区の指定や規制改革項目の追加、事業者の選定のプロセスは関係法令に基づき適切に実施しており、圧力が働いたことは一切ない」と述べ、自身による便宜を否定した。前川喜平・前文部科学事務次官が記者会見で「行政がゆがめられた」など語っていたことから、首相が公の場で問題について説明するのは初めて。野党側が求める前川氏の国会への証人喚問や「総理のご意向」などと記した文書の再調査も事実上拒否した。民進党の眞山勇一、共産党の仁比聡平の両氏に答えた。

元の記録などによると、昨年9月上旬から10月中旬に首相官邸の補佐官室に複数回呼ばれ、いずれも和泉氏と2人きりで面会した。前川氏は昨年9月上旬の面会について、「和泉氏から、獣医学部の新設を認める規制改革を早く進めるよ

うに、という趣旨のことを言われた。「加計学園」という具体名は出なかったと記憶しているが、加計学園の件であると受けとめた」と証言。そのうえで「このときに和泉氏から『総理は自分の口から言えないから、私が代わって言う』と言われたことをはっきり覚えていた」と語った。この面会で前川氏は和泉氏に明確な返答をしなかったといい、「大臣(松野博一)文科相)に直接伝える必要はない」と思い、面会の趣旨だけを担当の専門教育課に伝えた」と説明した。一方、昨年10月中旬に面

会した際のやり取りについて、前川氏は「早く進めてほしい」という内容だった。タイムリミットということではなかった。この時期は、前川氏が和泉氏と面会した時期と重なっている。確には返答をせず、その日のうちに、事務次官室で専門教育課の職員に対して面会の内容を伝えたという。前川氏は25日の記者会見で、加計学園の獣医学部新設について、文科省が内閣府から総理のご意向「官邸の最高レベルが言っている」などと伝えられたと記された文書について、

昨年9～10月に「担当の専門教育課から報告を受けた際に受け取った文書に間違いはない」と明言。この時期は、前川氏が和泉氏と面会した時期と重なっている。「確認できない」和泉首相補佐官 和泉首相補佐官は国土交通省住宅局長などをを経て、第2次安倍政権発足直後の2013年1月に首相補佐官に就いた。地方創生などを担当している。朝日新聞は29日、和泉氏に対し、昨年9～10月に複

数回、首相官邸で前川氏と面会したか▽その際に「総理は自分の口から言えないから」といった発言をしたか▽加計学園の獣医学部新設について、安倍晋三首相から具体的な指示を受けたか―などについて文書で質問した。和泉氏側は「記録が残っておらず、確認できません」と具体的な指示を受けたことはありませんと文書で答えた。また文科省専門教育課は、前川氏の証言について「承知していない。記憶にない」としている。